

導水路や壁面施工を紹介

コンクリ
メンテ協
コンクリート構造物
の補修・補強に関する
フォーラムを開催



フォーラムの様子

た最適な管路更新やア
セツトマネジメントのレ
ベルアップに活用してお
り、その事例を紹介する。
日程は両日とも10時
11時30分。受講料は無料
で、議員だけでなく水道
事業体職員も受講でき
る。詳しくは全地勉の
ホームページまで。

技術マニュアルを取りま
とめており、これらのマ
ニュアルは下水道事業を
進めるうえで大いに役立
つもので、ぜひ参考にし

フォーラム2022(主
催)一般社団法人コンク
リートメンテナンス協
会)がさきころ、大阪市
内で2日間にわたり開催
された。脱炭素社会を目
指し、コンクリート構造
物の寿命を延ばす維持管
理、点検・診断を踏まえ
た補修・補強技術などに
関する10題の講演が行わ
れた。

一般社団法人セメント
協会の「セメント系補修
材料の使い方」では、型
枠を設置せずにコテなど
を用いて、断面修復材を
塗り付ける断面修復工法
(左官工法)を紹介。摩
耗で躯体コンクリート表
面が経年劣化した導水路
を、高圧洗浄機で脆弱部
を除去して止水し、ポリ
マーセメント系断面修復
材で補修した施工例を説
明した。

ひび割れ注入工法で
は、ダム取水棟で漏水

を伴うひび割れが発生し
たコンクリート壁面につ
いて、ひび割れ幅0.2
〜0.4mm、躯体厚200.
0mmの壁面に、手押しボ
ンプで超微粒子セメント
スラリーを低圧注入。ひ
び割れ内部を洗浄後、セ
メント比120%の低濃
度スラリーを先行注入
し、ひび割れ幅によって
60〜80%の範囲(標準
70%)の濃度で、スラリー
を本注入した施工例など
を説明した。

株式会社CORE技術
研究所は「プレストレス
コンクリート構造物の有
効な維持管理」として、
コンクリート構造物の伝
播速度を解析し、内部の
欠陥位置を可視化・推定
する非破壊試験技術の1
つであるトモグラフィ調
査を紹介。地下構造物の
ボックスカルバート側壁
(600mm×600mm)
で、垂直方向に0.2mm
程度のひび割れが生じて
いても、弾性波計測で漏
水していないことを確認
したと説明した。